

大阪駅北地区まちづくり基本計画

平成16年7月

大 阪 市

はじめに



梅田貨物駅を中心とする大阪駅北地区は、関西の主要都市と鉄道・道路網により1時間程度で結ばれる都市圏の中枢に位置し、大阪の代表的なビジネス街や繁華街に近接する、「都心に残された最後の一等地」として、その開発には大きな関心が寄せられており、大阪はもとより関西の再生をリードする新しい拠点となることが期待されています。

また、平成14年7月に、この地区が都市再生緊急整備地域に指定され、さらに、平成16年4月、生活支援型ロボット拠点を大阪圏に作ることを国の都市再生プロジェクトとして位置づけられるなど、大阪駅北地区のまちづくりと大阪の産業経済の活性化に向けた環境整備が進んでおります。

この地区のまちづくりについては、平成14年度に国際コンセプトコンペを実施し、世界中からの数多くの貴重な提案をいただき、平成15年10月には基本的な方向性をとりまとめた「大阪駅北地区全体構想」を策定いたしました。

さらに、本年3月に関西の学界や経済界、国や地方の行政機関などのご参画により「大阪駅北地区まちづくり推進協議会」が設立され、全体構想の具体化や事業化についての議論を深めてまいりました。その議論を踏まえ、このたび、まちづくりの基本方針の素案を作成し、推進協議会で承認いただいたものを、大阪市が「大阪駅北地区まちづくり基本計画」としてとりまとめました。

この基本計画は、まちづくりを進める公民の共通・共有の基本指針となるものであり、この内容に沿って、快適で活力に満ちた、そして美しく風格を備えたまちを公民が協働して実現していきたいと考えております。

今後、大阪市では基本計画に基づき都市計画案を作成し、早期に開発事業が具体化されますよう取り組みますとともに、この計画の策定を契機に、国内外のさらに多くの皆様が、当地区のまちづくりに関心を持たれ、魅力あるまちの創生に参画いただくことを心から期待申し上げます。

平成16年7月

大阪市長

大阪駅北地区まちづくり推進協議会会長
關 淳一



大阪駅北地区の開発は、関西再生のカギを握る最も重要なプロジェクトであり、關市長のリーダーシップのもと、関西の産学官が結集して「大阪駅北地区まちづくり推進協議会」を設置し、快適で活力に満ちた、そして美しく風格を備えた世界に誇れるまちづくりをめざしています。

当地区のまちづくりについては、この推進協議会の中に多くの民間の方々に参画賜り「まちづくり企画委員会」(委員長;堀井良殷財団法人大阪 21 世紀協会理事長)を設け、土地利用や都市空間形成のあり方などまちづくりの基本方針について度重なる熱心な議論をいただき、この「大阪駅北地区まちづくり基本計画」の案をまとめていただきました。

基本計画では、経済活性化や国際競争力の向上に寄与するアジアをはじめとした国際的そして広域的な拠点形成や、人が集いふれあい賑わいのあるまちづくり、水や緑を配したアメニティ豊かな環境や景観づくり、さらには関西の強みを活かした知的創造を促す拠点づくりなどの魅力あるまちの実現をめざしています。

推進協議会では、今後、この基本計画の実現に向け、開発事業に対する具体的な指針となるガイドラインの検討に着手するとともに、この地区のそして関西再生の重要な要素となる「ナレッジ・キャピタル」の実現に向けて具体的な検討を進めてまいります。

関西再生のためには、当地区の開発が起爆剤として早期に進むことが重要で、経済界も一丸となって推進協議会の取り組みに協力・連携してまいりたいと考えており、来年度早い時期に開発事業がスタートできますよう多くの関係機関のお力添えを切にお願いいたします。

平成 16 年 7 月

社団法人関西経済連合会会長
大阪駅北地区まちづくり推進協議会
合同会議座長

秋山 喜久

目次

はじめに

まちづくりの基本方針	1
まちの骨格の形成	2
導入する都市機能・土地利用	4
1. 導入する都市機能の基本的な考え方	4
2. 中核機能の方針 未来の知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成	4
(1)ナレッジ・キャピタルの機能	4
(2) 次世代ロボット産業創出拠点の形成	6
3. 新たな都心機能の集積	7
4. 土地利用ゾーニング	8
(1)先行開発区域	9
(2)西地区	10
都市空間形成	12
1. まちづくりの考え方	
1 - 1. 交通計画	12
(1)幹線道路計画	12
(2)駐車場・自動車動線の考え方	15
(3)広域鉄道ネットワークの形成	16
1 - 2. 水と緑のネットワーク	17
(1)水と緑の考え方 水と緑で都市を再生する	17
(2)緑のネットワーク 多様な緑のネットワークで緑あふれる都心づくり	17
(3)水のネットワーク 豊かな水の表情をもつまちづくり	17
1 - 3. 快適な歩行者空間ネットワーク	20
(1)安全で快適なゆとりある歩行者空間の整備	20
(2)回遊性の高い歩行者動線ネットワークの形成	20

(3)周辺地区のネットワークの形成	20
1 - 4 . 先進的な都市環境の創造	22
(1)環境負荷の低減	22
(2)ユビキタスネットワーク環境	22
(3)安心・安全のまちづくり	22
1 - 5 . 都市デザインの基本方針	23
(1)一体的かつ総合的なデザインコントロール	23
(2)ボリュームバランスに配慮したまちなみ形成	23
(3)魅力ある景観形成に向けたルールづくり等	23
(4)芸術性豊かな空間づくり、夜間景観の創出	24
2 . 都市空間形成の方針	
2 - 1 . 広場	25
(1)広場の基本方針	25
(2)北口広場の整備	25
(3)西口広場の整備	26
(4)JR大阪駅周辺の歩行者動線ネットワーク	28
2 - 2 . シンボル軸	29
(1)基本的な考え方	29
(2)ゆとりと風格ある公民連携の水と緑の空間形成	29
2 - 3 . 賑わい軸	32
(1)基本的な考え方	32
(2)華やかで賑わいある空間形成	32
2 - 4 . 外周部や敷地内の空間整備	33
(1)外周道路沿いの空間形成	33
(2)賑わいネットワークの空間形成(敷地内の歩行者空間)	33
まちのマネジメント	34
今後の進め方	36